

※※2017年8月改訂(第3版)  
※2014年8月改訂

## パンテチン製剤

日本標準商品分類番号
873133

# パンテチン錠100mg「YD」

## PANTETHINE TABLETS

(パンテチン錠)

承認番号	22500AMX00494
薬価収載	2013年6月
販売開始	2013年6月

貯法	室温保存、気密容器
使用期限	外箱に表示の使用期限内に使用すること。
注意	取扱い上の注意の項参照。

### [組成・性状]

#### 1. 組成

1錠中、パンテチン100mgを含有する。  
添加物として、乳糖水和物、無水ケイ酸、カルメロースCa、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、ヒドロキシプロピルセルロース、酸化チタン、タルク、黄色4号(タートラジン)、青色1号、黄色5号を含有する。

#### 2. 性状

黄色のフィルムコーティング錠である。

	外形			直径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (mg)	識別コード (PTP)
	表	裏	側面				
パンテチン錠100mg「YD」				約9.1	約4	225	YD 063

### [効能・効果]

- パントテン酸欠乏症の予防および治療
- パントテン酸の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊娠婦、授乳婦など)
- 下記疾患のうち、パントテン酸の欠乏または代謝障害が関与すると推定される場合
  - 高脂血症
  - 弛緩性便秘
  - ストレプトマイシンおよびカナマイシンによる副作用の予防および治療
  - 急・慢性湿疹
  - 血液疾患の血小板数ならびに出血傾向の改善

なお、3の適応に対して、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

### [用法・用量]

通常、成人にはパンテチンとして1日30~180mg、血液疾患、弛緩性便秘には1日300~600mgを1~3回に分けて経口投与する。高脂血症には1日600mgを3回に分けて経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

### [使用上の注意]

#### 1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	0.1~5%未満	0.1%未満	頻度不明
消化器	下痢・軟便	腹部膨満、嘔吐	食欲不振

#### 2. 適用上の注意

##### 薬剤交付時

PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。(PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている)

### [薬物動態]

#### 溶出挙動

パンテチン錠100mg「YD」は、日本薬局方外医薬品規格第3部に定められたパンテチン錠の溶出規格に適合していることが確認されている。

### [有効成分に関する理化学的知見]

一般名：パンテチン(Pantethine)

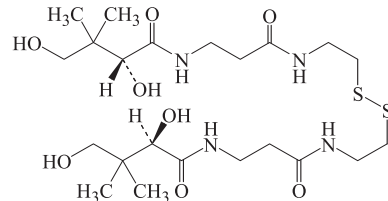
化学名：Bis(2-(3-[(2R)-2,4-dihydroxy-3,3-dimethyl-

butanoylamino]propanoylamino)ethyl) disulfide

分子式：C<sub>22</sub>H<sub>42</sub>N<sub>4</sub>O<sub>8</sub>S<sub>2</sub>

分子量：554.72

構造式：



性状：無色~微黄色澄明の粘性の液である。

水、メタノール又はエタノール(95)と混和する。

光によって分解する。

### [取扱い上の注意]

#### (1) 保管方法

光、湿気を避けて保存して下さい。

#### (2) 安定性試験

最終包装製品を用いた加速試験(40℃、相対湿度75%、6ヶ月)の結果、パンテチン錠100mg「YD」は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。<sup>1)</sup>

### [包装]

PTP：100錠、1000錠

バラ：1000錠

### [主要文献]

- (株)陽進堂社内資料：安定性試験

### ※※[文献請求先]

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

株式会社 陽進堂 お客様相談室  
富山県富山市婦中町萩島3697番地8号

0120-647-734

### 製造販売元

株式会社 陽進堂  
富山県富山市婦中町萩島3697番地8号